

あおもり漁連

代表理事会長 植村正治書

資源有限 漁業無限

No.
146



「和船競漕大会」

CONTENTS

漁協合併特集.....	1	浜の情報・話題	
青森県における大型クラゲ対策.....	3	青森県漁業信用基金協会.....	8
平成19年度青森県豊かな海づくり大会.....	5	青森県漁業共済組合.....	9
第7回青森県和船競漕大会.....	7	「お父さんへのメール・手紙」入賞作品.....	11
		県内漁協職員紹介（小田野沢）.....	12
		水産に関する主な動き（4月～9月）.....	13

2007 10

21世紀は漁村の時代

漁 協 合 併 特 集

「新深浦町漁業協同組合」と「竜飛今別漁業協同組合」

平成20年 1 月に誕生

深浦地区では、大戸瀬漁協、舳作漁協、岩崎村漁協の3漁協が9月7日に合併仮契約調印式を行い、10月18日に各漁協で合併総会が開催され、合併が承認された。（平成20年1月1日県内4番目の認定漁協「新深浦町漁協」として発足）

また今別・三厩地区では、竜飛漁協、今別町西部漁協、今別町東部漁協の3漁協が9月22日に合併仮契約調印式を行い、10月19日に各漁協で合併総会が開催され、合併が承認された。（平成20年1月1日「竜飛今別漁協」として発足）

会 長 名	事 務 局	現 在 の 状 況
加藤副町長 (中泊町)	小泊漁協	・ 事前認定 (H18. 01. 25) ・ H19. 08. 02 推進協議会解散
川村組合長 (青森市漁協)	青森市漁協	・ 事前認定 (H18. 01. 25) ・ 20 年 3 月までの合併は困難な状況
古田副町長 (野辺地町)	野辺地町漁協	・ 事前認定 (H18. 01. 25) ・ 20 年 3 月までの合併は困難な状況
立石組合長 (脇野沢村漁協)	脇野沢村漁協	・ 事前認定 (H18. 01. 25) ・ 「認定」にとらわれず、H23 ~25 年までの合併を目指す
田野副村長 (東通村)	野牛漁協	・ 事前認定 (H18. 01. 25) ・ H19. 10. 15 推進協議会解散
戸田副村長 (六ヶ所村)	泊漁協	・ 事前認定 (H18. 02. 20) ・ 20 年 3 月までの合併は困難な状況

合併後の各漁協の概要は次のとおり。
(数値はいずれも平成18年12月末現在)

【新深浦町漁協】

組 合 員 数 7 0 7 名(正580名、准127名)
職 員 数 2 6 名
販売取扱高 1, 7 2 4 百万円
購買取扱高 3 1 4 百万円
出 資 金 2 0 7 百万円

【竜飛今別漁協】

組 合 員 数 2 9 5 名(正225名、准70名)
職 員 数 9 名
販売取扱高 5 0 0 百万円
購買取扱高 7 2 百万円
出 資 金 8 3 百万円



「事前認定」を取得した地区の現況

地 区 名	漁協数	参加(対象)漁協名	研究会設置	推進協議会設置
日本海海域の2	3	十三、脇元、小泊 (離脱：車力・下前)	(H17. 10. 24)	(H19. 03. 26)
むつ湾海域の2	2	後潟、青森市		(H13. 12. 27)
むつ湾海域の3	2	野辺地町、横浜町	(H17. 01. 26)	(H19. 04. 10)
むつ湾海域の4	2	川内町、脇野沢村 (離脱：むつ市)	(H16. 09. 27)	
津軽海峡海域の1	6	石持、野牛、岩屋、尻屋、尻労 猿ヶ森(離脱：小田野沢・白糠)	(H13. 12. 25)	(H17. 11. 30)
太平洋海域	2	泊、六ヶ所村海水	(H17. 08. 08)	

青森県における大型クラゲ対策

【クラゲ対策事業について】

本県におけるクラゲ対策は、経営体質強化緊急総合対策事業(51億円基金事業)により、改良漁具の導入や洋上駆除を実施していたが、18年度限りの事業であった。しかし、事業の執行残、11億3千2百万円(うち、クラゲ対策は5億1千9百万円)については、19年度に延長されることとなった。

さらに、19年度から5年間の事業として大型クラゲ等有害生物被害防止総合対策事業(8億3千万円の事業費に対し、洋上駆除事業費は3億9千3百万円)が新たに加わり、事業の充実が図られた。

また今年度から底建網の駆除も対象となる見込みである。

【底建網のクラゲ駆除】

大型クラゲ洋上駆除事業は、原則漁労作業と駆除作業が区別できる底曳網と定置網に限定されていたが、本県では、底建網も甚大な被害を受けており、昨年から国等に要請を続けた結果、今年度は漁協が事業実施者になり、その海域で一斉に駆除を実施するのであれば、駆除事業の対象にできるとの見解を全漁連が示した。

【クラゲ対策会議の開催】

大型クラゲ洋上駆除事業を実施するにあたり、一定の駆除方法・出動基準・駆除日の設定が必要であることから、事業説明会やブロック会議が開催された。

大型クラゲ等有害生物被害防止総合対策事業に係る説明会

開催日・開催場所 平成19年9月20日 青森県水産ビル
参集範囲 青森県、関係水産団体、県定置漁業協会、
県下漁協組合長及び筆頭職員

大型クラゲ被害防止対策会議

(大間越～小泊漁協地区)

開催日・開催場所 平成19年9月27日 鯨ヶ沢町「ホテルグランメール」
(竜飛～外ヶ浜漁協地区)

開催日・開催場所 平成19年10月4日 今別町西部漁協
(脇野沢村～階上漁協地区)

開催日・開催場所 平成19年10月9日 むつ市「プラザホテルむつ」

【クラゲ駆除作業】

(1) 駆除方法

- ・ 2 艘 1 組になり、1 艘には 2 名以上乗船し、網上げ・駆除（殺傷）作業を実施する。もう 1 艘はクラゲ駆除作業の状況の写真やその他補助を行う。
※底建網の形態により隻数の変更も検討する。
- ・ 駆除作業のみとし、漁労作業は行わない。（水揚げは発生しない）
- ・ 駆除作業は原則として底建網全ての経営体が一斉駆除を行う。
- ・ 駆除日は県が発動し、発動期間内の作業のみ補助事業対象とする。
- ・ 駆除日以外においても、駆除は確実に行うものとする。
（網から出すだけでなく、確実に殺傷する。）

(2) 出動基準

- ・ 国で定める「大型クラゲの沿岸域における洋上駆除の出動基準」では、大型定置 500 固体、小型定置 100 固体の入網が出動基準であるが、底建網の場合、入網状況が把握できない構造になっているため、過去の出現データを基に国の大型クラゲ駆除認定委員会に申請し、青森県独自の出動基準を設定する。

(3) 駆除日の設定

- ・ クラゲの出現状況に応じて、県が漁協及び県漁連と協議の上、「駆除日」を設定する。（各海域の潮流により、駆除を実施出来ない状況も考えられるため、概ね 10 日程の猶予をもって駆除日を設定し、その期間内に駆除を実施する。）

【駆除作業の留意事項】

- ・ 国の補助事業であるため、本県で定めた駆除方法及び出動基準を遵守し、確実な駆除（殺傷）を実施する。

【駆除事業の活用について】

- ・ 19 年度から 5 ヶ年の継続事業であるため、県及び県漁連と連携を取りながら、より多くの方に活用していただきたいと考えております。

（昨年度の定置網による駆除作業）



平成20年度よりスタート！

現在、政府内部で折衝している
段階の水産庁案です。

【平成19年9月版】

漁業経営安定対策事業

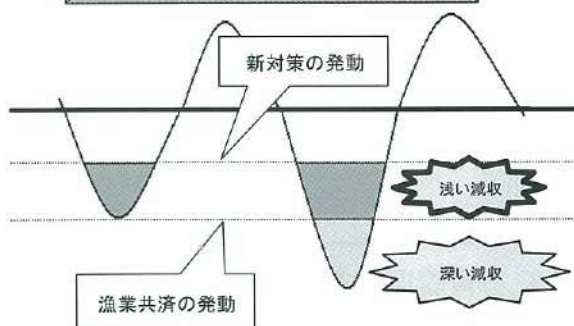
我が国漁業の急速な脆弱化に対し、将来にわたって国民に対する水産物の安定供給の確保を図っていくためには、漁業者の経営改善の取り組みを促進することにより、「効率的かつ安定的な漁業経営」を育成し、資源状況に見合った持続可能な生産構造を実現することが必要です。

しかし、漁業経営は収入の不安定性が大きく、漁業者が経営改善に取り組む際の阻害要因となっています。

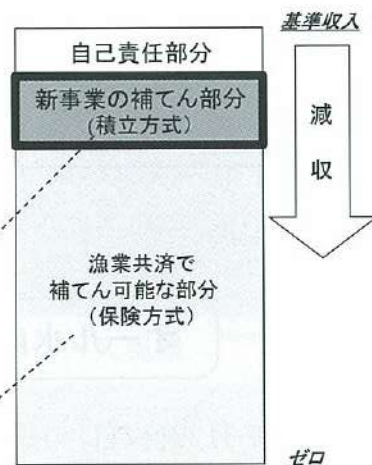
このため、「効率的かつ安定的な漁業経営」を実現するために、積極的かつ計画的に経営改善に取り組む漁業者を対象に、安心して取り組める環境を整備することが必要ですので、①現行の漁業共済の経営安定機能に加えて、②収入の減少による漁業経営への影響を緩和する新しい「漁業経営安定対策事業」を平成20年度から実施します。

新しい漁業経営安定対策のイメージ

漁業者の収入変動イメージ



それぞれの補てん対象部分



○ 積立方式

- ・ 漁業者自身の積立(個人別管理)と国費の積立(個人別でなく全体でプール管理)が補てん原資。
- ・ 漁業者の拠出が掛捨てとならない方式。

○ 保険方式

- ・ 漁業者が拠出した保険料(共済掛金/全体でプール管理)が補てん原資。保険料には国が助成。
- ・ 無事故の時には、漁業者の拠出(保険料)が掛捨てとなる方式。

水産庁

事業の対象者

次の5つの要件をすべて満たしている漁業者が対象となります。

① 経営改善の取り組み要件

「効率的かつ安定的な漁業経営」の育成を目的とする「漁業経営の改善及び再建整備に関する特別措置法（漁特法）」に基づき、経営改善計画を作成し、都道府県知事（計画によっては大臣）による認定を受けていること。

② 所得に関する要件

経営改善の取り組みによって、将来的に「他産業並の所得」を安定的に確保できる漁業所得水準にあること。

※「所得水準」とは、各都道府県ごとに所得水準の範囲が設定されることになります。

③ 漁業共済への加入要件

漁業共済へ実質加入（契約割合が一定割合以上）していること。

※「実質加入」とは、現行の漁業共済制度における掛金国庫補助要件である最低契約割合以上での加入のことです。

④ 主業・年齢要件

ア 主業要件

主に漁業から収入を得ていること。

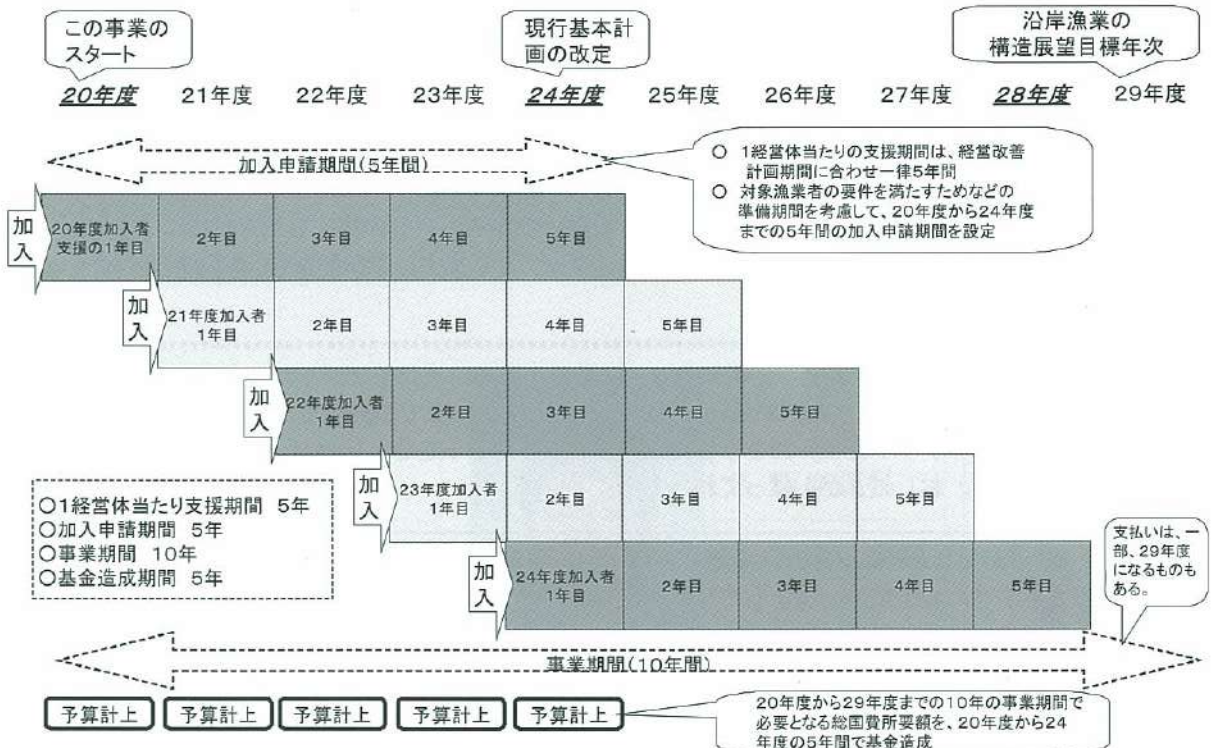
イ 年齢要件

漁家経営体の場合は、当該経営体のうち「海上従事日数が最も多い者」の年齢が65歳未満であること。

⑤ 資源管理・漁場環境改善の取り組み要件

地域で行われている資源管理・漁場環境改善のための取り組みに協力的であること。

漁業経営安定対策の支援期間などの関係



お問い合わせ先！ 青森県漁業共済組合 TEL：017-722-4044
FAX：017-722-5551

「お父さんへのメール・手紙」入賞作品決定！

～みんなの心温まる声がいっぱい届きました～

第二管区海上保安本部では、漁に出るお父さん、お爺ちゃんの無事を願う気持ちを綴った「お父さんへのメール・手紙」を募集したところ、東北各地の小学生を中心とした130点の応募があり、その中から6作品を選出し、さらに2作品を優秀賞と決定しました。青森県内入賞者・作品は下記の通りです。

優 秀 賞

むつ市立大畑小学校 5年 坂部 咲季 さん

「お父さん、お元気ですか。私は、いつもお父さんのぶじを神様におねがいしています。お父さんも、安全のためにライフジャケットをつけて漁をしてください。船に乗っている他の人たちにもすすめてください。イカがいっぱいとれるのはうれしいけど、お父さんがぶじにもどって来てくれることが一番うれしいのです。」

入 賞

東通村立尻労小学校 6年 小笠原 雛 さん 『お父さん、気を付けて』

「お父さん、いつもお仕事ご苦労様です。お父さんは、いつも仕事で船に乗っているけど、ライフジャケットは、つけていますか？ まあ着けていない時もあると思います。いつも着けているのなら、それを続けて、着けていない時もあるのなら、毎日、着けるようにし、命を守って下さい。仕事をがんばるのもいいけど、がんばりすぎると、急にたおれることがあるので、ほどほどに、ガンバッテ下さい！大漁になることを漁師なら願っていると思います。大漁になることを願いながら、自分の体にも気を付けて下さい。私も、お父さんが船から帰って無事だと「ホッ」とします。これから、お仕事ががんばって下さい!!!」

階上町立大蛇小学校 2年 中田 江里子 さん 『ライフジャケットをきてね』

「太すきなおとうさん。お魚いっぱいとれてますか。海でのあんぜんなふくそうは、ライフジャケットだよ。おとうさんがライフジャケットをきていけば、わたしもあんしんです。おしごとがんばってね。」

※ 「お父さんへのメール・手紙」とは、漁船海難及び漁船からの海中転落による死者・行方不明者の減少策の一環として、平成16年から当本部が独自に取り組んでいる事業です。入賞作品を漁業関係者に広く紹介することで、海難防止思想の普及、安全意識の維持・高揚を図ることを目的として実施しています。

命 に 着 せ よ う 救 命 胴 衣

第二管区海上保安本部

救命胴衣着用推進



このたび、救命胴衣着用の推進を図るため、平内町大字土屋の波打漁港の防波堤に「命に着せる救命胴衣」の文字を描き、漁業者の皆さんにPRする事になりました。

青森海上保安部職員と県漁連指導課職員が協力し、週末を利用してペンキを塗りました。

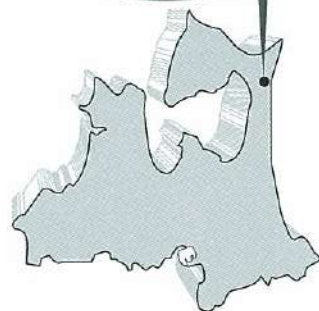
お近くを通った際は是非ご覧ください。

県内漁協職員紹介

東通村は、本州北東端に位置し、津軽海峡と太平洋に面しており、海岸線だけでも約 60 km に及び、面積も約 300 km²と大きな村です。

今回は村内にある「小田野沢漁協」の職員の皆さんをご紹介します。

小田野沢



1. 川口勝也
2. 参事
3. マージャン
パチンコ
4. 日々努力



1. 竹山 稔
2. 販売課長
3. 野球 競馬
4. 特になし



1. 畑中真由美
2. 信用係
3. 音楽鑑賞
4. 初心を忘れ
ずに



1. 二本柳 薫
2. 購買係
3. パチンコ
4. 子供が生きがい
(2児の父親)

1. 氏 名

2. 担当業務

3. 趣味・特技

4. 自己PR

水産に関する主な動き (4月～9月)

4月	事 項	場 所
10日 (火)	野辺地・横浜漁協合併研究会	野辺地町
12日 (木)	クラゲ被害対策会議	北海道
15日 (日)	ライフジャケット着用推進モデル漁協指定式	平内町
26日 (木)	日本海北部漁協合併推進協議会	中泊町

5月	事 項	場 所
1日 (火)	青森県小型いか釣漁業協議会 通常総会	青森市
2日 (水)	青森県漁村活性化対策協議会 協議会	青森市
2日 (水)	社団法人青森県ほたて漁業振興基金 通常総会	青森市
9日 (水)	トド被害対策に係る意見交換会	北海道
13日 (日)	県下漁協組合長・筆頭職員会議	青森市
13日 (日)	水産政策フォーラム	青森市
14日 (月)	丸一よしのりさんを励ます会	八戸市
14日 (月)	丸一よしのり決起大会	平内町
17日 (木)	青森県漁業環境保全振興協会 通常総会	青森市
17日 (木)	青森県漁市場協会 通常総会	青森市
21日 (月)	今別・三厩地区漁協合併推進協議会	今別町
25日 (金)	漁船海難防止講習会	三沢市
28日 (月)	日韓・日中対策事業検討委員会	東京都
30日 (水)	平成19年度いか釣漁業と沿岸漁業との操業協定会議	北海道

6月	事 項	場 所
1日 (金)	水産政治力結集に係る研修会	東京都
6日 (水)	日本海北部漁協合併推進協議会	中泊町
7日 (木)	社団法人青森県漁港漁場協会 通常総会	青森市
7日 (木)	社団法人青森県水産振興会 通常総会	青森市
7日 (木)	漁船漁業構造改革総合対策事業説明会	青森市
12日 (火)	青森県漁船海難防止・水難救済会 通常総会	青森市
13日 (火)	社団法人青森県漁協経営安定対策協会 通常総会	青森市
14日 (木)	青森県漁業経営安定対策本部 通常総会	青森市
14日 (木)	水産政治力結集のための漁業者集会	青森市
14日 (木)	青森県漁業協同組合連合会 通常総会	青森市
15日 (金)	青森県漁業信用基金協会 通常総会	青森市
15日 (金)	青森県 JF 共済推進本部 通常総会	青森市
15日 (金)	西北水産振興会 臨時総会	青森市
17日 (日)	ほたて供養祭・「ホタテの日」記念イベント	平内町
20日 (水)	経営体質強化緊急総会对策事業ブロック説明会	東京都
21日 (木)	八戸沖の操業調整に係る協定会議	東京都
22日 (金)	青森県信用漁業協同組合連合会 通常総会	青森市
22日 (金)	青森県漁業共済組合 通常総会	青森市
22日 (金)	丸一よしのり決起大会	青森市
25日 (月)	今別・三厩地区漁協合併推進協議会	今別町
26日 (火)	むつ湾漁業青色申告会連合会 研修会・通常総会	青森市
27日 (水)	東通地区漁協合併推進協議会	東通村
27日 (水)	第13回全国青年漁業者グループリーダー研究集会	東京都
27日 (水)	丸一よしのり必勝全国総決起集会	東京都
28日 (木)	全国漁青連2007 (第17) 年度 通常総会	東京都
30日 (土)	八戸沖の操業調整に係る船頭間会議	八戸市

7 月	事 項	場 所
5 日 (木)	県下漁協職員研修会議	青森市
11 日 (水)	むつ湾漁業振興会 通常総会	青森市
12 日 (木)	水産政治力結集に係る研修会	東京都
13 日 (金)	あわび等密漁撲滅連絡協議会	岩手県
13 日 (金)	小泊救難所実地訓練	中泊町
24 日 (火)	トド被害対策会議	青森市
31 日 (火)	青森県さけます増殖流通振興協会 通常総会	青森市

8 月	事 項	場 所
2 日 (木)	日本海北部漁協合併推進協議会	中泊町
2 日 (木)～3 日 (金)	東北・北海道漁協専務参事懇談会	北海道
3 日 (金)	小型いか釣と沖合底曳との安全操業に関する話し合い	八戸市
7 日 (火)～10 日 (金)	青森県定置漁業協会視察研修会	韓国
16 日 (木)	要改善 JF に対する経営改善策定会議	青森市
20 日 (月)	平成19年度さけふ化放流事業調査計画説明会	青森市
22 日 (水)	秋さけ資源管理調整協議会	東京都
25 日 (土)	太平洋沖における沖合底曳網との安定操業確保に関する船頭間会議	三沢市
28 日 (火)	今別・三厩地区漁協合併推進協議会	今別町
29 日 (水)	深浦地区漁協合併推進協議会	深浦町
30 日 (木)	野辺地・横浜地区漁協合併推進協議会	野辺地町

9 月	事 項	場 所
4 日 (火)	大型クラゲ情報交換会	青森市
5 日 (水)	密漁防止対策全国連絡会議	東京都
6 日 (木)	東日本産地漁市場協会 総会	青森市
7 日 (金)	深浦地区漁協合併仮契約調印式	深浦町
15 日 (土)	第7回青森県和船競漕大会	青森市
15 日 (土)	平成19年度青森県豊かな海づくり大会	青森市
18 日 (火)	ほたて関係組合全体協議会	青森市
20 日 (木)	大型クラゲ等有害生物被害防止対策事業説明会	青森市
30 日 (土)	大型クラゲ被害防止対策会議	鰺ヶ沢町

編集後記

来年1月に2地区で合併漁協が誕生する運びとなりました。

“合併は結婚と同じ” 紆余曲折を経て辿り着いた新漁協の誕生を心待ちにしています。

平成19年10月31日発行

◇発行◇

青森県漁業協同組合連合会

青森市安方一丁目1番地32号 TEL 017-722-4211代

◇印刷◇

不二印刷工業株式会社 TEL 017-741-5439